

実地指導等における よくある指摘事項

仙台市障害福祉サービス指導課

目 次

1. 実地指導時によくある指摘事項について

- ① 身体拘束等の禁止
- ② 欠席時対応加算
- ③ 法定代理受領通知
- ④ 個別支援計画

1－① 身体拘束等の適正化（１）

【よくある事例】

- ・ 身体拘束等の記録が作成されていない
- ・ 対策を検討する委員会が設置されていない
- ・ 指針が整備されていない
- ・ 従業者に対し、研修が定期的に実施されていない

1－① 身体拘束等の適正化（2）

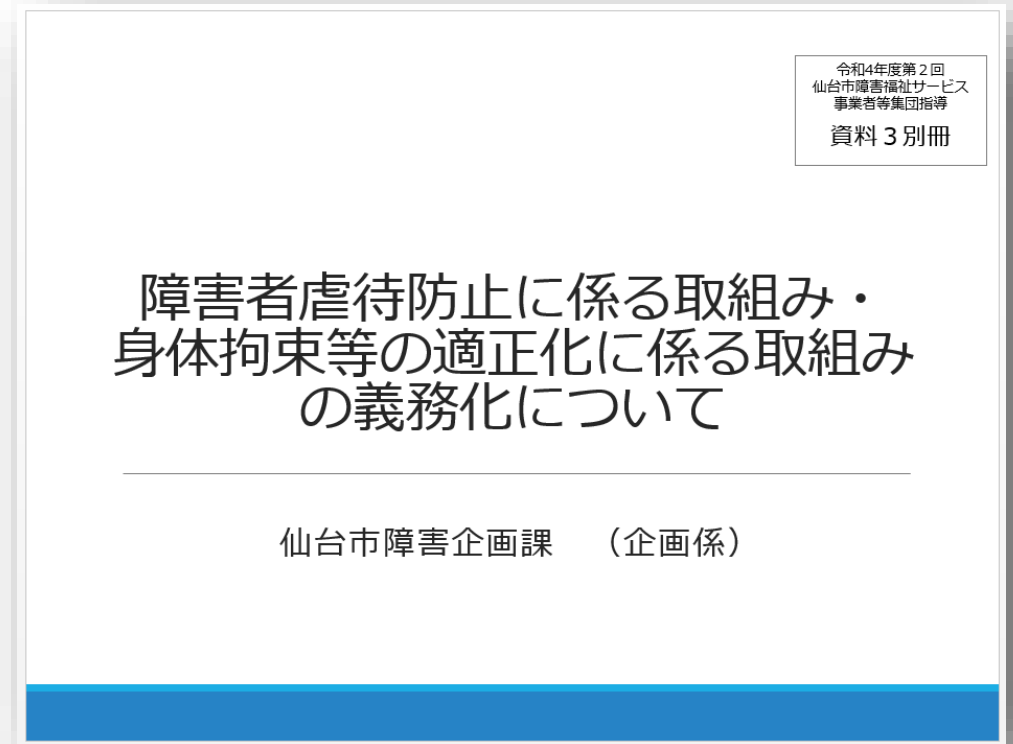
- ① やむを得ず身体拘束等を行う場合には、必要な事項を記録すること。
- ② 委員会を、少なくとも年1回以上開催するとともに、その結果について、職員に周知徹底を図ること。
- ③ 身体拘束等の適正化のための指針を整備すること。
- ④ 新規採用時及び少なくとも年1回以上、研修を実施すること。
→必要な措置が講じられていない場合、5単位／日の減算

1－① 身体拘束等の適正化（3）

●詳しくは…

令和4年度第2回仙台市障害福祉サービス事業者等集団指導資料の「講義資料3」をご覧ください。

【掲載先】仙台市トップページ＞事業者向け情報＞福祉・医療＞福祉＞障害福祉サービス＞令和4年度第2回指定障害福祉サービス事業者等の集団指導



1－② 欠席時対応加算（1）

【よくある事例】

- ・ 欠席の連絡を受け付けた日が記録されていない
- ・ 連絡調整その他の相談援助の内容が記録されていない
- ・ サービス提供実績記録票に利用者の確認を得ていない

1－② 欠席時対応加算（2）

【気を付けていただきたいこと】

- ・「欠席したことに対する相談援助」を行うこと
- ・相談援助の内容を適切に記録すること
 - 「利用者名」「連絡者」「受付者」「受付日」
「利用予定日」「相談援助の内容等」

1－③ 法定代理受領通知

【よくある事例】

- ・ 法定代理受領額を通知していない
 - ・ 自己負担額のある利用者にのみ法定代理受領額を通知し、自己負担額のない利用者には通知していない
- 自己負担額の有無に関わらず、通知が必要

1－④ 個別支援計画（1）

【よくある事例：通所・入所系】

- ・ 利用開始後も、個別支援計画を作成していない
- ・ 個別支援計画の作成に係る会議の記録を作成していない
- ・ 個別支援計画を契約時に作ってはいるが、必要な頻度で見直しを行っていない
- ・ 利用者又は家族から、書面で同意を得ていない
- ・ 直接支援員と内容を共有していない

1－④ 個別支援計画（2）

【よくある事例：居宅系】

- ・ 計画内に担当する従業者の氏名、提供するサービスの具体的内容、所要時間、日程等を記載していない
- ・ 計画で定めたサービス提供内容や所要時間と実際のサービス提供が合致しない場合、計画の見直しを行っていない

1－④ 個別支援計画（3）

【以下の状態の場合、減算となります】

- ・ 個別支援計画が作成されていない
または、必要な頻度で見直しを行っていない
- ・ 個別支援計画の作成に係る一連の業務を適切に行わずに作成した
- ・ 個別支援計画が作成されているが、個別支援計画に基づいて支援していない